

第1回 三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）会議録

○日 時 令和4年5月27日（金） 19時00分～20時18分

○場 所 初声市民センター 講堂

○次 第

1 開 会

2 議 事

(1) 審議事項

議 案

1 令和3年度第5回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）
会議録の承認について（資料1）

(2) 意見交換

1 保護者向けアンケート（案）について（資料2）

2 市民向けアンケート骨子（案）について（資料3）

(3) 報告事項

1 教職員向けアンケートの分析について（資料4）

3 事務連絡

4 閉 会

○出席委員（21名）

座長	市川 昌樹	委員	小清水 宣雄	委員	札内 尚
委員	香山 賢一郎	委員	山田 光雄	委員	柴谷 肇
委員	青木 広美	委員	内藤 幸成	委員	川名 大介
委員	小川 哲男	委員	出口 悟	委員	伊藤 修也
委員	五十嵐 徹	委員	宮坂 和彦	委員	藤崎 誠三
委員	武内 千恵子	委員	石井 宏明	委員	高橋 伸昌
委員	水越 翔野	委員	鈴木 伸一	委員	中澤 謙介

○欠席委員（3名）

委員	前山 裕治	委員	鈴木 隆之	委員	中原 慎一
----	-------	----	-------	----	-------

○事務局（7名）

教育長	及川 圭介	教育部長	増井 直樹
教育総務課長	塚本 孝治	学校教育課長	高梨 真一
教育環境担当課長	ソリバン 薫	政策部政策課長	矢尾板 昌克
教育総務課 GL	浦西 伸一		

◇事務局　それでは、ただいまより令和4年度第1回「三崎地区・南下浦地区合同の三浦市学校教育ビジョン地域協議会」を開催いたします。

はじめに、及川教育長より挨拶申し上げます。

◇教育長　皆さま改めましてこんばんは。

令和4年第1回目の地域協議会ということで、メンバーが変わっているところもありますので挨拶をさせていただければと思います。

この学校教育ビジョン協議会につきましては、令和元年に策定いたしました三浦市学校教育ビジョンの推進にあたりまして、地域の皆さまの御意見を聞きながら、ということで設けさせていただいた協議会であります。

当初の予定ではもう少し早くこの協議会の御意見をまとめていただいていたわけですが、この間のコロナ禍だったり、また地域からいろいろな意見を聞かせていただくという中で、時間がかかっているということでもあります。委員の皆さまには最初の頃から関わっていただいている方もありまして、長く御協力いただいております。改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

学校教育ビジョンのそもそものを申し上げますと、三浦市の最大の課題でもある人口減少、これに起因しているわけです。人口減少に伴う子供の数の減少、それに伴う学校の小規模化がどんどん進んできている、そしてこの先も進んでいくであろう。という見通しの中で時代が学校教育に求めるものも変わってきているわけですが、そういうことに応じながら三浦市の学校教育を準じさせていくことそれを果たしていくためには三浦市の学校の体制がどうあっていくべきかということを考えて学校教育ビジョンを策定いたしました。

令和元年に策定して今年は令和4年で3年間経過しているわけですが、その間でも子供の数は確実に減ってきています。小中学生を合わせての数になりますが、策定した令和元年から今年までのこの3年間で約300名が減少しています。300ってどのくらいの数なのか少し具体的に申し上げますと、三崎地区でいえば岬陽小学校、名向小学校を合わせた数になります。南下浦地区でいいますと、旭小学校、南下浦小学校、剣崎小学校を合わせた数になります。それほど数が3年間で減っています。確実に当初心配していた人口減少は進んでいるということがその数字からも言えるわけです。

この学校教育ビジョンについては、いろいろな意見を聞く中で見直しということを決めましたので、その見直すための資料といいますか、元になるアンケートを取ろうということになりましたので、教職員のアンケートを3月に取らせていただきました。教職員がこれからの時代に見合う子供たちに身につけていくべき力、そういうものを身につけていくための学校はどうあるべきかを聞いたわけですけれども、学校の規模としては、学年複数学級、12学級以上の学校がいいだろうと答えた教職員は6割、そして今よりも少しでも大きいほうがよい、学年それぞれが複数学級でなくても少しでも大きな学校を作っていく小学校のクラス数でいうと7学級以上11学級以下という答えた教職員、先程の12学級以上を求める教職員も併せると9割の方がそれぐらいの規模の学校が子供

たちに求められる力のある程度身につけていくためには必要であると答えております。

このあと議題にもなっておりますが保護者向けアンケート、市民向けアンケートということで、意見を取らせていただきます。そういう声を聴きながら、これからの三浦市の学校の在り方、ビジョンの見直しということになります。それを進めていきたいと思っています。

皆さまにはまだ、御意見を聞かせていただく部分があります。今年度、何回かこういう会議を開きながら皆さまの貴重な意見を聞かせていただければと思います。三浦市の子供たちのために今年度どうぞよろしくお願いいたします。

◇事務局 及川教育長は、ここで退席させていただきます。

それでは、議事に入る前に、新年度令和4年度になりまして、委員さんの変更がありましたので、御紹介させていただきます。

まず、南下浦中学校PTA会長の鈴木委員です。三崎中学校長の小清水委員です。

また、本日から南下浦中学校の市川委員に座長として議事進行をお願いしておりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、本日の資料について、事前に郵送させていただいておりますが、お手元にお持ちでしょうか。もし無いようであれば申し出てください。資料の確認をいたします。

次第、資料1前回の地域協議会の会議録、資料2-1保護者向けアンケートの変更点の対照表、資料2-2、資料2-3の現在稿。

続けてアンケート調査の表紙と資料になります。それから資料2-3、これは前回の地域協議会1月時点での最終稿です。それから資料3市民向けアンケート骨子ということで、A4、1枚で配布しております。それから資料4教職員アンケート集計結果ということで配布しておりますが、よろしいでしょうか。

それでは、資料の確認をしましたので、議事進行を市川座長よろしくお願いいたします。

◇座長 それでは改めまして、こんばんは。「三崎地区・南下浦地区合同の三浦市学校教育ビジョン地域協議会」を開催いたします。

事前に、鈴木委員、前山委員から欠席の連絡がございましたので、御報告申し上げます。

早速ですが、議事に入ります。

はじめに議案1「令和3年度第5回三浦市学校教育ビジョン地域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）会議録の承認について」を議題といたします。

会議録につきましては、すでにお手元に送付してございますが、本案修正等に関する皆さまの御意見を頂戴した上で、誤字脱字等の修正については座長一任とすることについて御承認いただきたいと思っております。

修正等の御意見がございましたら、御発言をお願いします。いかがでしょうか。

（発言等なし）

なければ、お諮りいたします。議案1「令和3年度第5回三浦市学校教育ビジョン地

域協議会（三崎地区・南下浦地区合同）会議録」のとおりとすることについて、併せて、誤字脱字等の修正については座長一任とすることについて御異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

ありがとうございます。御異議なしと認め、そのように決定いたします。

◇座長　続きまして、意見交換に入りたいと思います。

二点あります。保護者向けアンケートの案、一般市民向けアンケートの骨子案についてになります。

最初に、保護者向けアンケートの案について扱っていきたいと思います。事務局より説明をお願いします。

◇事務局　それでは、保護者向けアンケートにつきまして、前回の協議会においていただいた御意見を反映させ、修正をした後、皆さまには郵送でお送りして、御確認いただく。ということで前回の1月は終わっておりましたが、その後、市役所庁内での意見交換がかなり活発に行われまして、時間がかかってしまって大変申し訳なかったですけども、バージョンにつきましても当時1月の時には5、5.1、5.2というところだったのですが現在10.いくつといったところまできておりますので、議論があったのかなということで御理解をいただきたいと思います。時間が超過してしまったことについては、誠に申し訳なかったと思っております。御理解いただきたいと思います。

では、資料2-1を御覧いただきたいと思います。

A4横の左側ver10.2と書いてあるものが現在の最終案です。点線、右側には前回の地域協議会が終了時点の意見を反映させたバージョンで、今日までに追記、削除、修正を見え消しで分かるようにした説明文になっております。会議時間短縮もございましたので右側の修正稿に書いてある部分については二度手間になってしまいますので説明は割愛させていただきますが、御質問又は御不明な点等ございましたでしょうか。

（質問等なし）

無いようなので、続いてここまでのver10.2というところまでは、この最終稿で基本のかたちで皆さん御異議ございませんでしょうか。

（「異議なしの声あり」）

ありがとうございます。続けて資料2-2を見ていただきたいと思います。

こちらにつきましては、設問の2-②について学校の規模を聞く設問の部分なのですが、A案かB案かどちらがよいでしょうか、という協議会の皆さまへの投げかけです。

何が違うかというを見ていただければ分かると思いますが、Aのほうは今までの最終稿のままです。Bのほうにつきましては、複式学級でもよい、それから学年1学級、単

学級でもいいんだよっていうAでいう6学級以下（複式学級含む）というところを細分したのになっています。こちらにつきましては、A案がいいかB案がいいかというところを御意見があったらいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

◇事務局 補足で少し説明をいたします。

なぜこのA、Bに分かれたのかというところなのですが、庁内の意見交換の中で、A案でいくと学校全体の規模で示していますが、それよりも学年での学級数のほうが分かりやすいのではないかという意見が一つございます。

もう一つは、B案は先ほど教育総務課長からも説明がありましたが、2番の学年1学級がよいというのが新たに加わっておりますが、こちらについては、A案でいきますと今の学校規模でもいいのではないかと考えている方が、1の6学級以下というところに吸収されるんですが、それよりも独立して学年1学級がよいという答えを選ぶ方も多いのではないかということで追加したほうがよいのでは、という意見があったために変えたものです。

こちら御意見をいただいて、AかBを決めたいと思っております。AとBの違いは1番と一緒に細分化されたかどうかというところなのですが、一つAの方がいいという考えもありまして、10年後、20年後を考えたときに今の単学級の学校規模でよいという意見であっても近い将来には必ず複式学級が設置される規模になってしまうということ、考えると今のままでいいということを選んでいただくということは、少し現在だけを見ているような答えになってしまうのではないかという危惧を持っているところがございます、どちらがいいのかということ事務局としては悩んでいるところでございます。

最後にもう一つ、Bで2番の学年1学級がよいというところを選んだ方が、次にどの質問に飛ぶかというところですが、こちらを選んだ場合には、今の案でいきます⑤のそういった規模を確保するためにはというところ、統廃合が必要ですがあなたの考えに近いものを選んで番号を記入してくださいというところに飛んでいただくかたちになるかと考えております。

補足の説明としては以上でございます。どうぞよろしく申し上げます。

◇座長 説明がありましたけれども、前段の方はよろしいですか。1月段階から ver. 5 から ver. 10 に上がっていったところの前半の方ですね。誘導的な表現を削除したというような修正が入りながら地域協議会で出された意見をしっかり反映したかたちでの案になってきているのかなと感じられます。

今大きなところで言うと2-②についてA案、B案というかたちで出されていますがこちらに関していかがでしょうか。何か御意見お持ちの方お願いできますか。

◇委員 Bの方が分かりやすくいいなと思いました。

あと、これは別に変えなくていいんですが、③の選択肢の学年1～2学級がよいというのは中途半端な気がして、これを選ぶ人の気持ちはどういうものなのかなと思います。

1～2学級というのはいびつなんですよ、40人学級ができたり、19人学級ができたりとさまざまでありよろしくないかたちなんだろうなと。

それでも③を選ぶ人は恐らく⑤なのではないかと思うので本当は1学年複数学級がいいけれども、統廃合に反対して、であれば今のままでいいという考えになるので、③のところは少し分かりづらいのではないのでしょうか。

◇座長 はい、ありがとうございます。事務局のほういかがですか。

◇事務局 今回の③学年は1～2学級がよいというところですけども、Aの②と相当するものになっています。

教職員向けアンケートでは7～11学級というものがあつたので、そこと整合させるためにはこれが必要かなということを事務局では一つ思っています。

あともう一つは今よりももう少し大きな規模であればいいのかなという方もいらっしゃるのかなと思いますので、③という選択肢を設けました。

◇座長 どういう心理で答えるか中々読み切れないところがあるので、そういう風な考え方で答える人もいるかもしれないというのも考えながら設問としてはこれまでの整合性を作っていくという意味合いでのものだという説明でした。

そのほかいかがですか。

◇委員 単純なことなのですが、これにどうのこうの意見じゃなくて、これをいただいて全部目をとおしておおむねOKなんですけど、現在小学校に通われている方が次の何年後かに妹さん、弟さんがいて、学校へ入るときには複数学級、複式学級という区分けは分かっていると思うんです。ただ、例えば未就学児のはじめてお子さんを就学させる保育園、幼稚園に通わせているお子さんの保護者に向けて、アンケートを実施するときに複数や複式だっていう理解が多分できていないと思うんです。どこかにその説明があると初めてのお子さんの方にはもっと分かりやすくなるし、アンケートにも答えられるんじゃないかなと思いました。

◇委員 保育園なんですけど、やはり今言われたように、複式学級という表現の仕方が耳慣れしていないので、これは一般的な表現の仕方なのかなと、これを読んでいけば大体そういう意味なんだろうなと理解はできるのですが、やはり保育園やそういうところにいる人たちには分かりにくいのかなと思いました。

◇事務局 後程ご説明しようと思っていたんですけども、アンケートの表紙と資料の部分こちらに複式学級の基準については説明書きを入れさせてもらっています。2学年合わせて児童が16名以下となった場合に1学年にする。また、複式学級とはと書いてあるところに異なる学年を1つの学級として指導するというかたちで、こちらには一応説明を入れております。

- ◇委員 アンケート自体には記載しないのでしょうか。
- ◇事務局 アンケートと資料が裏表になるので、保護者が記述する面の裏に説明があるといったかたちです。
- ◇事務局 こちらの資料を読んでからアンケートに答えていただきたいという思いがあります。
- ◇事務局 提出していただく保護者の方のために二次元バーコードを4つまで増やさせていただいて、学校教育ビジョンについてだとか文部科学省の基準なども見れるようにしてあります。
- ◇委員 資料が頭にきてその次に質問事項がくるということでもよろしいでしょうか。
- ◇委員 せっかくこれを載せるのであればもっと分かりやすく、例えばアンダーラインを引くとか、字を太くするとかすればより分かりやすいのではと思います。
- ◇委員 複式学級とは異なる学年を1つの学級として指導する形態です。学級担任も1人ですよね。例えば、2、3年が一緒の学級で学習するときそこにいる先生も1人になる、そういったことも書いた方がいいと思います。
- ◇座長 複式学級のイメージはわかりますでしょうか。
剣崎小学校は、今複式学級はありますか。
- ◇委員 ないです。しかし、危ういところです。
- ◇座長 複式学級についての学習会的なことを剣崎小学校の先生方も勉強しているというのを聞いたことがあるので、もしよろしければ複式学級がどんな感じなのか剣崎小学校の校長からお話していただいてもよろしいでしょうか。
- ◇委員 剣崎小学校で実際に複式学級になったわけではないんですが、以前、あと1人で複式学級になるといった時期があったので、もし複式になったらということで職員間でこんなことをイメージときましようね、というところで情報共有をしました。
例えば、1、2年生だと8人以下なのでこの学年が2、3年生になった時に2、3年生合わせて16人以下というところで、例えば2年生が10人、3年生が6人というようなことになると、複式学級は法律で決められているものなので、どうしたらいいかあまり選択する余地がないんですけれども、2、3年生で1クラスというクラスができあがり、そこに担任が1人というかたちになります。本当だったら2年生、3年生で担任の先生が1人ずつといったところが、言ってみれば教員の数が1人減るようなかたちになり、2、3年生で担任の先生が1人、国語の授業をするときには、2年生の国語の授

業と3年生の国語の授業を1人の先生が同時に行うので先生があっち見たり、こっち見たりというかたちで授業を進めるようなイメージが複式学級のイメージです。

東北の方ではかなり多くの学校で、山間部の学校なんかだとそうせざるを得ないというところで色々な授業形態というのが研究されていて、紹介されているところではあるので学校の中ではこんな方法もあるんだねっていうところを一緒にみんなで勉強した経緯がありました。

中々分かりづらくてすみません。そんなような状況です。

◇座長 ありがとうございます。

まだ誰も経験していないところがあるので未知の世界ではありますがイメージを持ちながら、参考2のところで見ると剣崎小学校の令和10年度のところに関していうと2年生が7人、3年生が3人ですのでここがくっついて1クラスになるということがすでに見えている状況ですので、そうなるよっていうところをイメージが沸きながらこのアンケートに答えていただけるかということが大きなポイントになるのではないかと思います。

◇委員 あくまでもこの16名という枠は2つの学年を合わせてということですか。

◇委員 はい、そうです。

◇委員 3学年を合わせてということはないですね。

◇委員 今、私が承知しているところでは2つの学年ですけれども、言われているところでは、2つの学年以上という言われ方はしていますけれども、私の知識の中で3つ一緒というところは承知しておりませんが、実際にはあるかもしれないです。

◇座長 学校教育課長のほうから何かありますか。

◇事務局 把握しているのは2学年、もしかするとその東北の山間部で学年1人ずつということがあれば場合によってはあるかもしれませんが、三浦市の現状を考えていくと2学年はあり得ます。3学年まではまだないと思います。

◇委員 2番の設問に関しては増えているB案でいいと思います。全体的に記憶から抜けているのがアンケートについて統廃合という文字はあまり使わないほうがいい、それを誘導するような設問はないほうがいいのではないかとということもありつつ、⑤の複数学級がよいが統廃合には反対するというところの意図と⑥の統廃合する場合に注意すべきというところは、そもそも統廃合に関してのアンケートを取るのかなと統廃合じゃなくても例えば、現状の教育に関して注意すべきこととかにした方が、統廃合をしたくないという方に対してのアンケートに統廃合をする場合にと投げかけてしまうと答えが導かれてしまうと思いました。

◇委員 廃ってという言葉に過敏に反応しちゃいますよね。統合とかだったら少しオブラートに包めるとは思いますけど、統廃ってなると破棄される、廃校になってしまうというイメージも強くなるから言葉を考えた方がいい。

◇委員 まず、Bの⑤複数学級がよいが統廃合には反対するという設問がずっとあるのですがなぜ入ったのかなと、⑥だけ特質的に統廃合に関してのアンケートになっているというところで、教育ビジョンからその路線はずらして今の教育環境についてアンケートを取ろうというイメージだったので、⑥は際どいかなと思います。

◇事務局 統廃合には反対するという項目ですが、前回の地域協議会では、ここになかったものです。その下の統廃合よりの方、小規模校よりの方のどちらかで聞く形になっていました。前回の協議会でも議論されたんですけども、矛盾する回答であって、総論賛成でも反対ということを中心に答える方もいるだろう、割と多くいるのではないかとということで協議の上、残しました。今回修正したのが、これを聞くのであれば、学校の規模を聞くところに入れるべきではないかという話し合いをいたしまして、ここに収めています。という経過があります。

それから、2-⑥統廃合する場合の話ですが、これにつきましては全体にやるのであればどうなのか、教育ビジョン統廃合をしようとしていましたので、もちろんやった方がいいという思いに変わりはありませんので、これは賛成派、反対派合せて全体に聞いてみましょうというところでもあります。

◇事務局 今の2-⑥のところは今後学校の再編を考えています。そういった場合に色んな御心配があるというのは聞いておりますので、今回のアンケートの中でそういったことを進めていく中で一番心配なものは何なのかというところをきちんと把握したいという意味でいれているところです。

確かに統廃合という言葉は非常にナーバスなところですので、少しこの表現を変えられるかというのは少し検討してみたいと思います。例えば、将来統廃合する場合にはどうか、今考えられるのはそれくらいですが、少し事務局の方で言葉遣いについては少し検討していきたいと思います。もしかしたら、申し訳ないですけどこのままいかせていただく可能性もあるかなということを御承知おきいただければと思います。

◇座長 統廃合という言葉が一つありましたけれどもこれに関しては事務局に一任になります。

それから⑤の統廃合に反対するところが少し誘導的かなというところで、そういう意図ではないけれどもそういう気持ちで答える人の受皿になる意味合いとして作ったということで整理してこのままのかたちでもよろしいでしょうか。

◇委員 もしかすると懸念すると統廃合する場合って、残った場合にアンケートの集約率という回収率が減ることの懸念だけ、答えない方が出てくるだろうということも含めて考慮していただければと思います。

◇座長　　そういう懸念があったということはしっかりと残していきながら事務局のほうで検討をお願いしたいと思います。

　　少し飛んでしまいましたが複式学級に関してはこれ以上の説明はよろしいでしょうか。文字を太くするくらいで、あと担任の先生の数を入れるくらいで一般の方も多分イメージが沸くのではないかという判断でよろしいでしょうか。

◇委員　　そういうのをDVDじゃなくて動画みたいなのがあると分かりやすいのかなと、例えば山岳地帯でやっているような授業の光景をQRにもしあれば載せちゃった方が見ればイメージが沸くのかなと思うんですけど、そういう動画があるのかは分かりませんが、もしあれば載せてもどうなのかなと思います。そうすれば見ただけで、よく分かると思います。

◇座長　　少し検討していただいて、その動画を使っていいか許諾をどうするかということも関わってくるので、今のは御意見としていただいて事務局のほうで判断していただくかたちでよろしいでしょうか。後で私もYouTubeで探してみたいと思います。

◇委員　　今回のA案、B案なんですけど、これってまず表現が違う点と選択肢が分かれたという両方含めた変更になっていると思うんですね。それを踏まえて、個人的にはAがいいと思っています。さっき他の委員も言っていましたが、学年1、2学級というのも分かりにくいのでAの方がいいと思います。もしBにする場合、先ほど言っていた複式学級のところは表面にあっても見落とす人がいるのかなと思うので、私もまだ未就園児をもつ者として、その保護者の方って忙しいので見落としてしまうのではないかなと、裏面にその記載がありますみたいなものを書くか線を濃くするか結構気を付けたほうがいいのかなと思いますし、一行だけ同じ文言、複式学級とは異なる学年を1つの学級として指導する形態ですというのをどこかにこっちのページに入れるとかそういうケアがあった方がより親切かなと、紙面のスペースもあると思いますけれども、と思いました。

◇座長　　ありがとうございました。

　　丁寧に作っていきましょうということなのですが、Aの方がいいのではないかなという御意見が出ました。

　　さあ、A案、B案どういたしましょうか。

◇事務局　　A案、B案について再度補足の説明なのですが、A案は従前にやっている教職員向けアンケートでの聞き方と同じです。なので比較ができるのが一つA案のメリットです。

　　B案につきましては、6学級以下、先ほども申し上げましたけれども細分化したことで、比較した上でもより細分化した比較ができるのではないかというところがあります。

御意見多数というかたちの方向で整理できますか。これは難しいのかな、割れるのかなと正直感じたのですが。

◇座長 A、Bどちらがいいか声を上げていただけると。

◇委員 質問なのですが、1と2を割る意味って何なんでしょうか。

◇事務局 複式学級でもよい、学年1学級がよいを分ける理由ですか。

◇委員 1を選ぶってどういう人なのかなって、複式学級でもよいとなっているじゃないですか。

◇事務局 少人数の学校で小さな集団での学びで2-①で聞いている小学校として重要視するものは十分であるという方が、複式学級になったとしても小さな学校で十分ですという方が選ばれると思っています。

◇委員 難しいのではないのでしょうか。

◇事務局 私もきちんと整理できないのは学校によっても実情が違うところなんです。例えば旭小学校、上宮田小学校は1学級だけれどもそれなりの人数がいて、それでいいという保護者の方もいらっしゃるし、やっぱり複数必要でしょという方もいられる。だけど、例えば三崎地区の小学校でもかなり少なくなってきましたので、1学級で10人、15人では寂しいよねって思われる方もいるでしょうし、それがいいんだという保護者の方もいるので、学校によって状況も違って分けるのが非常に難しいのは正直思っています。

◇委員 Aだと現状のままの人が1を選ぶと思うんですけど、Bだと現状のままだけ1を選ぶか、2を選ぶかという風に分かれちゃうのかなと思うので、わざわざ分けて聞く意図というのが解らなくて、余計な誤解を生むだけなのかなと、しかも今回の先ほどのお話だとBで1を選んだ人と、2を選んだ人のその先の質問も別のところにいっちゃうわけですね。結構難しいなと思って、Aの方がシンプルなのかなと思って僕はAにしました。

◇事務局 先ほどもいいましたが、教職員アンケートと比較ができるというところでAがいいっていうのは一つあると思います。

◇委員 先ほどBという話をさせていただいたのですが、アンケートの資料にいただいているのが10年後、20年後の小学校を想像してお答えくださいとのことなので、やはり令和10年、6年後の剣崎小学校は現実的に複式学級ができる、このままいくと20年後には極端に言うと三崎小学校もできる可能性がある、そうなったときに自分の子供が

親になった時の子供が複式学級でいいんですかっていう想像を加える意味ではすごく難しい複式学級という意味合いですけど、入れておいた方が先ほどの教職員とAが比較できたとしても、教職員とBも逆に比較ができると思います。なので、出さなくてもいいということよりも10年、20年後のことを考えるのであれば、私は統廃合しない学校でこの学校で残っていてほしいし、複式学級になってもこの学校が残っていてほしいという意見が出る可能性もあるのであればB案の方がより自分の母校愛と言いますか、母校愛は違いますかね、そういうのが地域のコミュニティというのも見られるのかなと思いました。

◇座長 ある意味明確にはなりますよね。Bにして1にすれば現状維持でやっていきましようというのが深い意図がしっかりと取れる感じがしますよね。その辺がAの1だとどっちなのかなというところは見えきれない可能性はあるかもしれないですね。
委員どうでしょうか。

◇委員 確かにそれは聞く意図がありますよね。

◇座長 ほかにAの方がいいんじゃないかなという方はいらっしゃいますか。
では、Bがいいなというところも含めてもう少し御意見いただけると進むかなと。

◇委員 どのくらい差が出てくるのか見えないですね。

◇座長 わからないですね。

◇事務局 極端な話をしてしまうと、Bでも1と2を足すとAの1とぶつけられるんですね。比較はできてしまうんですよ。ただ、表現が違うのでどうぶつけられるのかっていうと若干は違ってくる。

◇座長 設問を変えた段階で比較するものではなくなっちゃうので、教員と比較することは設問が変わったらこっちの回答を合体して読取りますねっていうのは基本的に統計学的にはダメな手法なので、そこの教員との比較っていうところをB案に関しては諦めていくということで進めていくしかないかなと個人的には思いました。

◇委員 もっと単純に、B案ではぼいと思うんですけど、B案の2番 学年1学級がよい、3番 学年1～2学級がよい、が重複していませんか。だったら2番を無くして学年1クラスになっても少し人数が増えて2クラスになってもこの1、2クラスでいいよってしたほうが分かりやすいのではないかと思います。この2番だと学年1学級しか認めないみたいなそういう風に捉えられてしまう気がします。

◇事務局 学年単学級の今の規模の小さな学校でもいいという方が選ぶのが2番で、今のままよりも少し大きな学校で十分ですという方が選ぶのが3番なので。

- ◇委員　そこまで意図して選ぶかな。
- ◇委員　回答する側も難しくてそこまで考えないと思います。
- ◇委員　単純に1学年1クラスないし2クラスというほうがイメージが沸くんじゃないかと思う。
- ◇事務局　そうすると、3番が無くなって全学年複数学級か
- ◇委員　B案でいいんですけど、2番 学年1学級がよい、3番 学年1～2学級がよいじゃなくてB案のこの2番の学年1学級がよいてというのがいないんじゃないんですかって思うんだけど。
- ◇委員　逆にB案の3番を2学級以上がよいかにしたら分かれませんか。また変わってしまいますか。
- ◇委員　どうしてもこの文章にしたいんだったら、学年1学級がよいを学年1学級でもよいに変えたほうが「…がよい」という文章でまとめてしまうと重複してしまうので、「…でもよい」に文言を変えれば2番と3番の区別がつくんじゃないかなと思います。
- ◇座長　中々、保護者が持っているバックボーンがみんなそれぞれ違うので、全部を想像しながら答えるのは非常に難しいところがあるんですけども、ある程度細分化することによってイメージが沸いてくるとかであったり、こういう書き方をすることによって考えていくってことで少し引っかかって考えさせるというところがあるかと思うんで「が」がいいか「でも」いいかは、事務局にお願いしてもいいですか。体制としてはB案のイメージで進めていくということではいかがでしょうか。
- ◇委員　今みたいな意見が保護者の方も出るのであれば、Bの2番の選択肢に学年1学級がいい（全校6学級）、3番に（全校7～11学級）とか、そういうものを括弧で入れるというのはどうなんですか。僕が最初に言ったんですけどAとBの違いのところを選択肢を分けるのはいいと思うけど、表現はこの下のほうが誤解を招きやすいのかなと思ったのでそこが改善してほしいなと思います。
- ◇事務局　少し小さな字になってしまうかもしれませんが、入れることはできると思います。
- ◇座長　B案のほうは要するに学年単位で見たほうが分かりやすいよねという言い方、A案は学校全体で見たほうが分かりやすいよねというところでA案、B案分かれたんだけど、どっちの見方をするかはやっぱり保護者、回答する人が決めることなので、それ

をミックスしたかたちで、B案をベースにしながらか学校全体でみるという人もフォローできるようなかたちの設問にしていくイメージで、B案をその分け方のところはこういう分け方を使っていきましよう、そのようなまとめでよろしいでしょうか。

(賛成の声)

◇座長 それでは、最終的なところは事務局に一任しますが、それ以外のところの部分でいかがでしょうか。裏面の④番、⑤番、⑥番は少し話題になりましたけれど、⑦番辺りでいかがでしょうか。

◇事務局 それでは、表紙と資料で補足説明なのですが、表紙のタイトル部分に大きく括弧書きで10年、20年後の小学校を想像してお答えくださいと大きく出しています。今現在ではなく、将来の三浦市の学校の在り方を考えてお答えくださいという意味合いを強く出しています。

それからその下の、参考1の表、参考2の表につきましては、資料が古くなっておりましたので、令和4年4月25日現在の人数で修正しております。

◇座長 説明の部分とアンケート全体をとおしてということでありませけれども。

◇委員 この表紙の部分の2枚目の二次元バーコードがあるのですが、上から3番目のものがまったく読めない、位置をずらしたほうがいいかなと思います。

◇座長 早速実験していただきありがとうございます。

◇事務局 一回ずらしたのですが見栄えが悪くなってしましまして。

◇座長 見栄えよりも読めないとしようがないので。

◇座長 それでは、保護者アンケートについての御意見はよろしいでしょうか。

◇委員 先程の⑥は全員が答えるということによろしいでしょうか。

◇事務局 はい、そうです。

こちらについては、統廃合反対の方にも、統廃合する場合に、と聞いておりますので、これについては全体の保護者の方から注意すべき事項ということで回答をお願いします。

◇委員 ここに反対の方も御回答くださいと書いたほうがいいのではないのでしょうか。

◇座長 反対の方もという風に入れるよりかは、回答される方、みなさんがお答えくださいと一言入れたほうが、そこまでの3問くらいが〇〇を選択された方がお答えくださ

いというのが続いてしまっているのです、その次の質問に関しては丁寧に入れたほうがいいかもしれないですね。

その他、お気づきの点、ございますでしょうか。

(意見等なし)

◇座長 それでは保護者アンケートについては、このかたちでということによりお願いいたします。

続きまして、市民向けアンケートの骨子（案）について説明をお願いします。

◇事務局 それでは、資料3、A4 1枚のものになりますけれども、これにつきましては、非常に簡単なものとなっております。

まず、教職員向けアンケート、保護者向けアンケートについての目的を記載した下に市民向けアンケートは何をするかということに記載しています。

そして、これから先、設問項目について考えていくのですが、市民向けアンケートにつきましては、基本情報としてはお住まいの小学校区、年代、職業、お子さまの有無などを聞いていくのかなと思っています。

あと、小学校については学校施設に期待すること、地域住民として学校とどのような関わりを持っていくのかということを中心にメインにして聞いていくのかなと思っています。

仮に統廃合があつて学校が無くなった場合について、というようなことも聞いてみるのかなと思っています。

そこで何が大きく違うかということ、保護者向けや教職員向けで聞いていた教育に関することについて、今、事務局で出した案としては聞かないということで考えております。

それについて協議会の皆さんに御意見を伺いたいというのが今日の趣旨でございます。よろしくお願ひいたします。

◇座長 まだ骨子ですので、設問のアンケートの細かいものはこの骨子を確認してから作られることとなりますが、これについて何か御意見等いかがでしょうか。

◇委員 18歳以上の無作為抽出と書いてあるので、これは市役所のほうで投函した方だけがアンケートをするということですか。

◇事務局 はい、今のイメージとしては住民基本台帳で18歳以上の方から御夫婦で当たってしまう場合もありますが、無作為で抽出したいと思います。

◇委員 時期的には。

◇事務局 時期的には保護者向けをやりながら並行して事務を進めていきたいと思っておりますので、また設問とかこうしたらどうでしょうという場合には地域協議会でも揉んでいただくようになります。

◇委員　　そうであれば並行していく中で保護者向けアンケートと市民向けアンケートが全然違うものだっていうような最初の出だしの文章をいただいて、それでないと市民向けアンケートが来た人がなんだこれって、ならないようなかたちで進めていかないといけないかなと思いました。

◇事務局　　次回の協議会では、設問の案をお示ししたいと考えております。

◇事務局　　今日、骨子が決まれば設問の検討に入って、なるべく早くまた皆さんにお示しして御意見をいただきたいなと思っております。

◇委員　　何名くらいを抽出する予定ですか。

◇事務局　　一応、1,200名で回収率が30%とした場合に、統計学上95%以上の信頼は得られるかなと思っています。30%というのは一般論で市民向けアンケートの統計では回収率は30%としています。

◇委員　　年代に限らずですか。

◇事務局　　年代は18歳以上です。

◇委員　　仮にそうなったときに、まれに高齢者にあたってしまって書けない状態となってしまうたら。

◇事務局　　御承知のとおり三浦市は高齢化率が40%を超えていますので、今回半数近くは高齢者になると思います。

◇事務局　　それを見越すと1,200くらいで統計学上保障されているくらいになる。

◇委員　　3地区の中でランダムに三崎地区、南下浦地区、初声地区で1,200だと400世帯ずつ抽出するということでしょうか。

◇事務局　　今日はやり方についての確認と学校教育について市民の方々に聞くのかどうか、教育をどうしてほしいとかを聞くのかどうか、それはいらないんじゃないかという意見をいただけたらと思います。

◇委員　　自分的にはどうしても子供がいるので学校教育向けのアンケートであってほしいかなと思います。子供優先であってほしいというのもあるのですが、例えば設問としてたくさんの友達のいる学校がいいのか、それとも少なくてもいいのかぐらいは確認をしてもいいのかなと、子供には多くの友達と関わってほしい、多くの人と関わってもらい

たい、それとも少人数で学ばせたいとかそれぐらいはあってもいい気はします。

◇事務局 その辺りなんですね。それを聞くか聞かないかと考えました。その中で市民向けアンケートの結果と今やろうとしている保護者向けアンケートの結果でまったく異なるものが出てくる可能性はあると思っています。

小さい学校がいいか大きい学校がいいかという聞き方であっても保護者向けアンケートは多分大きい学校がいいとなると思っていますが、市民向けアンケートは小さい学校で十分ですとなった場合に、どちらを選ぶのか、前の地域協議会の中でもありましたがそうなった場合に教育委員会としては保護者向けアンケートの結果を優先する考えでありますが、そうであれば市民向けアンケートについては、今お示ししている小学校について市民として期待すること、また無くなった時の危惧についてを聞ければよいのではないかという考えがありまして、こういった骨子でどうでしょうかとお聞きしているところなんですね。

◇委員 ダイレクトな質問は入れない、統廃合に反対ですか、賛成ですか。

◇事務局 それも基本的には保護者向けアンケートを優先すると思っているので、市民向けアンケートには入れない。

◇委員 でも、今反対運動が起きているのは実際の保護者でなくてそういう市民の人たちが主導でやっているという話も聞くので

◇事務局 そこについては保護者向けアンケートでこういう結果が出たので、市ではこう進めたいんですというお話をしていくのかなと思っています。

◇委員 それは重複したとしても例えば保護者向けアンケートと無作為に抽出された人が被ったとしてもですか。

◇事務局 結果としては保護者向けアンケートの結果を優先してビジョンの見直しを進めていくのかなと思います。

◇委員 被る可能性はあるんですよね。無作為に抽出された人が実際はもう保護者向けアンケートに回答していたこともあるんですよね。

◇委員 アンケートを実施するにあたって答える人が

◇事務局 答える人が重複する可能性はあります。

◇委員 この市民向けアンケートなんですが、協議会で揉んでいます、絶対に実施するアンケートですか。

◇事務局 実際を実施したいアンケートで、予算化されています。

◇委員 課長のほうからアンケートが中々出てこない状況で保護者アンケートと被らせない教育のことであくまでも環境についてのアンケート重視になるのかなと、そうなってくると本当に中々設問も無くて①のスポーツとかやっってくださいって言うのって学校って1つのコミュニティの場ですけどって考えるとこれから進んでいった中で協議会の人からこれアンケートしないでいいよってなった場合はそういうこともありなんですか。

アンケートを受けた人が学校教育に関してのアンケートなのに、統合のことを書かないでこういうことをアンケートしたのかと捉えられないか気になります。

◇事務局 この協議会は三崎、南下浦地区の合同でアンケートについては引き続き揉んでいただきたいと思います。

それとは別に庁内の検討会議もございます。そちらでも御意見をいただくつもりです。

それから三浦市立校長会、校長先生方の御意見も伺ったりしながら進めていこうと思っていますので、地域協議会ではこういうところまでと意見が頂ければと思います。

◇座長 それでは、骨子（案）に戻りたいと思うんですけども、この三浦市学校教育ビジョンに関する市民向けアンケートではないってことでよろしいでしょうか。

要するに施設のことだとか無くなった時の危惧すること、学校教育ビジョンには一切書かれていないじゃないですか、学校教育ビジョンを知っていますかとかそれに対して読まれていない方はこっちの二次元バーコードを読んでください、読んでみてそれに関して将来の三浦市の子供たちのためにどうしていくことがよろしいと思いますか、ということを市民としての目線で考えてほしいというアンケートにしたいんじゃないのかなというのが市民向けアンケートなのかなって感じがするんです。

だから、私は学校が無くなると寂しいからということを書くのが市民向けアンケートではなくって、これからの子供たちにとって学校教育がどうあってほしいのかってことをこの市民向けアンケートから聞き出して行って、学校教育ビジョンが完成していくみたいところで作っていくのではないかなって感じがするんですけども、学校施設に期待することで「避難所です」という言葉がダーッと出てきたからといってそれが何なのだろうというところがちょっといまいちだと思います。

◇委員 教育ビジョンというものに対してはアンケートの中で保護者にもこういうかたちでアンケートを取っていますよと基本的には教育ビジョンというものを箇条書きにして、例えばこういう協議会をやっています、それで地域の人たちに対して学校という存在がどういうものなのかという問いをするかたちがいいですね。今までずっと歴史をもって小学校の中で地域の人たちが子供たちに教えてきたものが無くなってしまおうとかの意見も出てくる可能性はあるんですよ。

それともう一つ、施設としての利用ができなくなるかたちのことも出てくる、そこに

対しての危惧というのはある程度市民の方なら持つんじゃないかと思うので、将来のことは将来のこととして考えなければいけないし、それは行政としても考えなければならぬ、そういったところの部分で市民の本当の意見も聞く必要があるのではないかなと思います。

将来のことを市民に聞くってことはすごく難しいと思うんですね。どうぞ皆さんの御意見を言ってくださいとってアンケート文書とかを書いたら大変なことになると思うんですね、まとめることができなくなる、そういう意味で市民の人に聞くということとはもっと的を絞ったかたちもの方がいいと思います。

◇委員 座長がおっしゃったようにまず初めに、教育ビジョンを知っていますかというところから入って、知っている人は統廃合の意味も知っているし、知らない人は極端なことをいえば、質問はそこで終わりです。であってもいいと思うし、知らない人は騒がないよ。

◇委員 騒いでいる人だけじゃなくて、やっぱり教育ビジョンがこういうかたちで皆さんが議論しているんだということ、中身を市民に知ってもらわないとまずいんじゃないかと思います。

◇委員 座長からも色々お話があつて、骨子がこのように提案されていても具体的なものはないのでただ、ここから進んでいただくということでどうなんでしょうか。とりとめのない具体的なことがない、ただ、お話を伺ったのが市民向けアンケートは必ず実施するというだけ伺えたので。

◇座長 今お話にもありましたけれどもアンケートの一つの目的ってこういうのがあるんだよってなことを周知していく手法でもあるのかなって意味合いでは、やっぱり学校教育ビジョンに関するアンケートって、作っていくという方向性で教育についてもしっかり聞くのかなっていう気はするんですね。

その上で、その意見を踏まえながらなっていくと思うのであんまりこう保護者向けアンケートと全然違う内容だけを全く別物として聞いても最終的には保護者の意見を聞きますよってゴールがあるんだとしたら、やらなくてもいいという結論しかでなくなるので、そこのところをリンクさせたかたちでの作りをしていただく骨子として、具体的な設問を作っていただくというような方向性でよろしいでしょうか。

勝手にまとめてしまいましたけれどもそのようなイメージでお願いいたします。

それでは時間も大分過ぎてきましたので、市民向けアンケートの骨子についてはこちらでよろしいでしょうか。

(意見等なし)

◇座長 はい、それでは報告事項に入ります。

教職員向けアンケートの分析について、事務局から説明していただきますけれどもこ

ちらのほうお時間ありますので、質問があれば後日いただくかたちになりますので、事務局から説明をそのつもりでお聞きください。

◇事務局 三浦市学校教育ビジョン教職員向けアンケートの結果について報告しますが、今年2月に、教職員を対象に『「三浦市のこれからの学校教育の在り方」アンケート調査』というかたちで実施しました。中身については事前に配らせていただいていますので、見方についてだけ説明したいと思います。

資料4の6、7ページをご覧ください。

この教職員向けアンケートは、記名式ではなく、無記名で行いました。

まず書いてもらった項目が、校種（小学校、中学校）、教職経験年数（6年未満、6～10年、11～15年、16～25年、26年以上）、担任経験は小学校のみに聞いています（単級のみ、学年複数学級のみ又は両方）、最後にこれも小学校のみに聞いていますが、御自身がいた学校の在籍経験（学年単学級、学年複数学級（中規模以上）、又は両方）について回答していただきました。

6ページに戻っていただいて、一番初めのナンバーのところを御覧ください。

1、2、3についてはそれぞれ、1は小中全体、2は小学校の先生のみ、3は中学校の先生のみという見方です。4～8は、中学校教員の教職経験年数ごとの分析になっています。9～13は、小学校教員の教職経験年数ごとになります。14～16は、先ほども言ったように、小学校教員の学級担任の経験の分析となっています。単級のみ、複数学級のみ、両方やったことがある先生、最後に、御自身がいた小学校の在籍の種類で分けております。それによって分析しています。

あともう一つ補足しますと、大きく黒い線で縦で分けているんですけども、最初のところがAの問題で、先生が5択しています。5つまで選んでくださいという書き方でやっています。

その次の6ページの後半の太い四角で囲われている部分についてもBの問題で5択でやっています。①「生きる力を育むために」、②「対話的で深い学びのために」となっています。

1枚めくっていただいて7ページの部分ですが、最初の黒い囲いの部分はCの問題で教員の授業力を上げるためにはどうでしょうかというところで、やはり5つまで選択して答えてくださいという書き方です。その次になりますがこれ以降は、一つずつになります。実現するための学校規模、そして、それを叶えるための学級規模、その次が小中連携の必要性、そして小中連携に期待するもの、最後についてはいくつ回答してもOKとなっています。

このかたちで分析した結果を前段の部分で分析結果として、まとめさせていただきました。改めてその目線で見えていただいて、もし何かありましたら御意見をいただいて、協議会からの意見、分析結果というかたちにしていきたいと考えております。

説明については、以上になります。

◇座長 ありがとうございます。

こちらの分析については、分析の内容、方法、何か御意見、御質問等あれば、本日は

お時間に限りがありますので、事務局のほうへ連絡というかたちでお許しいただければ
と思っております。

続きまして、事務連絡をお願いいたします。

◇事務局 本日も活発な御意見をいただきましてありがとうございました。

保護者向けアンケートにつきましては、本日事務局に預けていただいた最終の提案事
項もございますので、修正したものを皆様には郵送で送って見ていただく格好でよろし
いでしょうか。協議会を開催して揉んでいただくかたちではなくて、郵送して見ていた
だくかたちで進めさせていただいてよろしいですかね。では、そのようにさせていただきます。

また、次回までには本日御意見していただきました市民向けアンケートの一步進んだ
設問をお示ししたいと思っております。

事務連絡は以上です。

◇座長 全体をとおしてこれだけは言っておきたかった、ということがもしございましたら
お願いします。いかがでしょうか。

(発言等なし)

◇座長 なければ、以上で三崎地区・南下浦地区合同令和4年度第1回三浦市学校教育
ビジョン地域協議会を閉会いたします。

お忙しい中、本当にありがとうございました。

—————◇ 20時18分 閉会 ◇—————